Time travel in MIYOSHI 三好　歴史をたどる旅

第6話「名鉄豊田線の開通」その1

昭和54年7月に名鉄豊田線が開通し、三好町に三好ケ丘駅と黒笹駅ができました。開通により、三好ケ丘地区の宅地開発が始まり、以後三好町の人口は、急速に増加。昨年12月には、人口5万人を突破しました。

今回は、三好町発展の一つの転機となった名鉄豊田線の開通について紹介します。

開通式（昭和54年）

幻の計画

鉄道を建設し、開通させることは、三好町にとって長い間の懸案事項でした。大正15年、当時の三河鉄道（現在の名古屋鉄道（名鉄））が、挙母（現在の豊田市）と名古屋市の大曽根間の鉄道敷設免許を取って、路線が計画されました。そして、計画が具体化されたのは、昭和4年から。法務局の登記簿によると、同年11月には、三好村池守田から曽田楽、上鯰ケ池にかけて、各地権者の田んぼが路線用地として測量され、次々と分筆されていきました。村人の多くは、間もなく電車が来る、駅ができると夢を膨らませていました。しかし、この計画はその後の経済状況の悪化や社会情勢の変化により、着工することなく幻の鉄道に終わってしまったのです。このほか、当時の計画の中には、東郷町の諸輪から福谷の根浦を経て、茹生から挙母へという路線も考えられていました。

黒笹駅の工事（昭和52年）

計画の実現

昭和36年、この鉄道空白地帯に鉄道の建設が必要であるという都市交通審議会の要請に基づき、計画は再び浮上しました。鉄道敷設免許を継承していた名鉄（三河鉄道は昭和6年に名鉄に併合）は、敷設免許の一部を名古屋市に譲渡。名古屋市と豊田市を結ぶ鉄道計画が実現へと動き始めました。

昭和47年2月の三好町臨時議会の議長報告では、1月に町長と議長、そして地元の福谷区長が同行し、名鉄に計画の実現に向けての陳情に出掛けているとあります。当時の三好町の北部地域は、昭和43年に策定された第1次三好町総合計画により、農業地域に指定されていました。しかし、工業化の進むなか、農業の後継者不足や若者の農業離れは深刻で、どのようにして農地を開発し、地域を発展させるかと、地元では頭を悩ませていました。そのころ、名鉄本社から豊田市や三好町などの関係者に、鉄道建設の協力依頼の呼び掛けがあり、新線の構想が打ち明けられました。

また名古屋市は、八事から日進町（現在の日進市）の赤池を終点とする地下鉄を、名鉄と接続することで豊田市まで延長する計画でした。三好町内では、黒笹、福谷を経るということになっていました。黒笹と福谷の行政区の役員は、町の担当者を交えて、連日のように説明会を開き、対応を協議しました。最も難航したのは、駅についての明確な構想が名鉄側から示されず、北部地域の計画が、未定の状態にあったことです。地域としては、後継者不足の農地をどうするのか、刑務所やし尿処理施設が建設されるなか、地域の開発を期待し「名鉄に駅を設置してもらい、将来を展望できる土地利用を進めよう」という意見が大勢を占め、地域と地権者から役員が選出され、名鉄や関係機関と対応することになりました。

（つづく）

おめでとうおたんじょうび 11月

『パパとお風呂に入るのが大好き』

ママのまねをするのがマイブームというひかるちゃん。鏡台の前でお化粧するまねをするんだって。パパと一緒にお風呂に入るのが大好きで、背中を上手に洗ってあげるんだ。パジャマも用意してあげるんだよ。ままごとが得意なひかるちゃんに「このまま伸び伸びとして、周りの人から愛されるような子になってほしいわ」とお母さん。

やまざき
山崎 ひかるちゃん（ひばりケ丘）
平成12年11月5日生
父・貴睦さん　母・紀子さん

『お外で遊ぶのが大好き』

さとくんは、雨の日もかっぱを着て遊びに出掛けるほどお外が大好き。公園で走り回ったり、電車や車を見に行ったりするんだって。お気に入りの車で、休みの日には、パパと二人でドライブするんだよ。でんぐり返りが得意で、転んでも泣かない活発なさとくんに「優しくて、しんのある強い子に育ってほしい」とお母さん。

さわだ さとし
沢田 覚史くん（三好丘）
平成13年11月6日生
父・靖裕さん　母・英子さん

出場者募集中

【1月のお誕生日コーナー】

▼**応募期間**＝12月1日から3日まで
▼**対象**＝1月生まれで3歳未満の児
▼**応募方法**＝広報情報課へ電話で
☎(32)8357

※11月の応募数は、16件でした。

広報クイズ

4つの数字と四則演算（＋、－、×、÷）を使って、問題①、②は答えが24になるように、問題③は答えが10になるようにそれぞれ式を作ってください。（　）と演算符号は何回でも自由に使ってかまいませんが、数字は1度ずつしか使えません。また1と5で「15」という使い方はせず、すべて単独で使ってください。

問題①　1、5、5、5を使って24を作る
問題②　3、3、8、8を使って24を作る
問題③　3、4、7、8を使って10を作る

【応募方法】答え（例…①5＋（5－1）×5＝25）・郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢と広報に対するご意見、ご要望などを書き添えて、はがき、ファクス、または電子メールで広報情報課へお送りください。

正解者の中から抽選で10人に、図書券500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】
・はがき…〒470－0295
三好町役場広報情報課（住所不要）
・ファクス…FAX(32)2165
・電子メール…✉kohojoho@town.miyoshi.aichi.jp

【締切り】11月7日(金)必着

【10月号の正解と当選者】①2勝3敗②(山)チーム（全23通、正解19通）石部智子、大塚雅也、岡本一恵、奥田悦資、加藤里香、竹谷しのぶ、中林富子、早川りえ、森千恵子、山内富美子（敬称略）

【おわびと訂正】10月15日号のおたんじょうびコーナー、井田洸暉くんの本文中、お兄ちゃんの名前に誤りがありました。正しくは、まさたかくんです。おわびして訂正します。